

Access Report

2019年 3月 12日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	学校情報	入試情報	教育情報	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・サレジオ学院 ・本郷中 ・湘南学園 ・桐蔭中等教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・筑波大付属中 ・合同相談会3 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校別入試結果 抜粋 共学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学1 ・東京大学2 	<ul style="list-style-type: none"> ・名言・迷言・冥言 ・都立日比谷高校 ・日比谷高校定員割れ

学校情報

サレジオ学院 入試報告会

日時 3月17日(日) 午前の部10:00~11:30、午後の部13:30~15:00

内容 学校長挨拶、4教科担当者による入試結果概況

申込 ホームページから、3月16日まで受付

<http://www.salesio-gakuin.ed.jp/>

湘南学園 ESD入試に寄せる期待

(学校ホームページより 2月8日)

湘南学園中学校2019年度入学試験は、2月1日、2日、3日、そして2月6日の合計4日間で実施されました。2月1日の午前には、「湘南学園ESD入試」という新しいタイプの入学試験(午後は従来通りの国語と算数の2科目入試)が実施されました。この新しい入試は、「受験生の皆さんが持つ素晴らしい力を発見したい!」という現場の先生たちの願いから始まったのです。

毎日の学校生活の中で、若者たちと接している本校の先生たちは、それぞれの生徒諸君が持つ素晴らしさを毎日のように発見しています。生徒諸君はそれぞれ実に豊かな力を持っています。その

力とは、学力に関するものだけではなく、例えばあるテーマについて友だちと意見を交わす力や、自分が考えたことや感じたことなどを相手の心に届くように文字や言葉で伝える力、または、相手の声を大切に聞き取ろうとするリスペクトの精神を持つことができる力など、人生の中で最も大切なものばかりです。

彼らは人としての魅力があります。生徒諸君の学校での様子を見ていると、それぞれの輝きがあります。それらは授業中だけではなく、休み時間や委員会活動、放課後の部活動など実に様々な場で見られるのです。若者の素晴らしさや魅力を現場の先生たちはずっと見てきたわけです。その先生たちから「受験生は、学力のみならず人としての豊かな力を持っている。だからそういう力を発見するような入試をしたい！」という声が上がってきたのです。「ならばやってみよう！」とわたしたち湘南学園の教員たちはじっくりと相談をして、ついに実施することを決意したのです。

しかし、これは入学試験です。受験生は人生をかけて入試に臨みます。意義のある入試でなければ許されないのです。実施するからには徹底的に準備をしようということになりました。現場の中から新入試プロジェクトチームが結成され、準備が始まりました。日々の仕事が終了してからの夜の作業が続きました。受験生のみなさんが「受験してよかった……」と思ってくれる入試にしなければいけない……それが先生たち共通の思いでした。

一方、私たちにはちょっとした苦労もありました。初めての試みだったものですから、実際の過去の出題例を受験生にお示しすることができないわけです。「どのような入試になるのか分かりづらい……」という不安に対してどのようなご案内をすることがよいのかなど、私たちも様々なことで悩みながら入試準備を進めてきたのです。受験生のみなさんだけではなく、保護者の方々、受験生を指導して下さる指導者の先生方にとっても「手探りの準備」があったのだと思いますが、結果として多くの方々に受験していただくことになりました。お礼を申し上げたいと思います。

さて、この新しい入試は二部構成になっています。

(第一部)入試の前に「小学校時代に取り組んだこと」と「湘南学園で挑戦したいこと」をテーマに90秒間で本人が語る様子を動画にして提出してもらいます。つまり「これまで」と「これから」を語ってもらうというものです。

(第二部)2月1日午前、記述・論述試験(テーマはSDGsの17のゴールに関する出題)です。知識を問う出題ではありません。試験当日に提示される資料をもとに考えられることを書けるだけ書き出す。

その状況に自分が置かれたらどのように感じるかなど、「テーマ」を自分に引き付けて考えて述べる。

その「テーマ」に関する「現状」を改善するための自分なりのアイデアを提案する。

……という問題なのです。

さて……、

この第一部の「動画」では、受験生みなさんに「これまでの人生」と「自分のこれから」を自分の言葉で語ってもらうということになっています。

……私は、この「動画」にある期待を持っていました。……私が期待したことは以下のようなことなのです。

「動画作成の際には、受験生のみなさんがこれまで歩んできた人生の時間を振り返るために、ご家族や周囲の方々と共に様々なことを語り合う場を持ってもらえるのではないかと。そして、これまでの自分の人生の中で、どのような素敵なことがあったのか、どのような成長の機会があったのか、どのような素晴らしい出会いがあったのかなどを、温かい気持ちで振り返ってくれるのではないかと。そうした自身の人生の振り返りが、やがて自分自身を肯定する気持ちへと繋がり、それが今後の人生に希望を持つ一つのきっかけとなるのではないかと。そのような明るい希望を見つめて中学校生活を始めてくれたら……。」

ご縁があって本校に入学することになった皆さんだけではなく、他校に進学する方々にとっても、このESD入試に取り組んだことが、受験生の皆さんにとって「人生の追い風」となってくれたらいいな……。私は、そう思いながらこの入試を見つめていました。

受験生のみなさん、本当にお疲れ様でした。いよいよ春から中学生ですね。中学校は楽しいですよ。充実した日々となるように祈っていますね。そしてご家族の皆さま、塾の先生方をはじめ関係の皆さま、ありがとうございました。

* SDGs: 2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。その17のゴールとは「貧困をなくそう」や「すべての人に健康と福祉を」、そして「人や国の不平等をなくそう」、「平和と公正をすべての人に」など、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけるものとなっています。

* 湘南学園ESDとは 湘南学園ESDの概説

ESD(Education for Sustainable Development)は、「持続可能な開発のための教育」と訳されます。これは、私たち(まだ生まれていない、私たちの子孫も含めて)が生きていくことを困難にするような問題について考え、立ち向かい、解決するための学びです。即ち、「持続可能な社会の担い手を育成する教育」といえるのです。「持続可能な社会の担い手」とすると同時に、自分らしく幸せに生きていける力や人間性を育むこと。これが、湘南学園が「湘南学園ESD」を構築し、推進していこうと考える根本的な理由です。

本校では、人格形成のカリキュラムとしての「総合学習」を実施しています。これは湘南学園の推進するESDの軸となります。中高6カ年の発達段階を考慮した様々なテーマを設定し、広く人間の生き方や文化について外部活動を通じて、生徒諸君の認識と行動を豊かにしていくための活動です。中1では、ひとり一人の人間にはみんな個性＝違いがあり、その違いは目に見える場合もあれば見えない場合もあることを知ります。そして、その違いも含めてそれぞれがかけがえのない存在であることを感じ、多様性を尊重することの大切さを学びます。中2では、「自分の生きる場としての地域を守り発展させるため」に、人々はどのような努力や工夫をしているのかを知る中で、人が協力・協働して取り組んでいくことの難しさや価値について学びます。中3では、「人々が大切にされるまちづくり・村づくり」に取り組む方々との出会いを通じて、自分とは違う世界に住む人たちのものの見方や、考え方に触れ、「持続可能な未来」を築いていくための土台づくりをします。

高校は、「現代社会」について本格的に学ぶ場となります。高1では、グローバル社会の現状につい

て、国連が掲げる SDGs などを切り口に、今の世界では個人の基本的な人権(一人ひとりの尊厳)が本当に守られているのか…を考え、”解決への糸口”を見つけるために、共に考えあう関係を、学年の中で育てていきます。高2では高1を通じて培った「現代社会に対する問題意識」をもとに、それらの「問題を解決する力」を養う、つまり「現代社会の中で、人間らしく生きていくための主体性を養う」ことが目標です。高3では社会を支えている人々の生き方に学ぶ機会を設け、「人間らしく生きられる社会をつくる主体者として、自分はどうか歩めばいいのか」をじっくりと考えていきます。

湘南学園ESDの目的

本校では、校内・校外における様々な学びを総合的にとらえる「湘南学園ESD」の理念のもと教育活動を展開しています。日常の全ての出来事が「学び」であるという視点に立ち、それらの学びをつなげ、発展させていくことで、社会の中で主体者として考えて歩んでいく力を養います。そのなかで、ロータリークラブやNPO等の外部機関や、卒業生・保護者・地域の方々、他のユネスコスクール(海外も含む)等との広範で強固な協力関係を築くことで、「開かれた学び」の実現とともに、湘南学園の目指すESDのさらなる強化・発展を志向しています。また、グローバル化が進展するなかで、「グローバル市民」「良き市民」となるために必要な認識や行動を育てることを目指しています。具体的には、「様々な問題について自分で発見・理解し、適切に行動できる能力や態度」「多様性を認めて、他者と共に高めあっていく能力や態度」「国際的に活躍できる能力や態度」等を生徒が身につけられるようにしていきます。

「大学に入りさえすれば、後はどうにかなる」という時代はとうに過ぎ、生徒たちは、モデルのない、大人にとっても未知の世界、とくに若者にとっては困難な世界で生きていかなければならない状況にあります。そのような中で、個々人が、自分らしく幸せに生きていくためには、「正解のない問い」に自発的に挑み、解決しようとする力を育む必要があるといえるでしょう。そして、このような力を身に付けるための基盤にあたるのが中高生の時期であり、このような力をつけるためにも有効な教育がESDであると考えます。

ユネスコスクールとなった湘南学園は、生徒たちが、自分たちの生きていく社会に興味・関心をもち、自ら学び、「持続可能な社会の担い手」が育つ場になっていきます。また、ユネスコスクールに加盟したことで、世界中の学校との交流等を通じ、湘南学園ESDの軸である「総合学習」の内容をさらに深め、広げていくことができることでしょう。

「総合学習」の根本に据えている「命を尊重する」ことを土台としつつ、交流によって得られるであろう国内外の様々な学校の事例も参考にし、さらに、学校以外の様々な組織との連携も広く行って活動を強化・発展させていきます。特に高校生の段階では、ESDの視点をより明確にして、「持続可能な未来」についてディスカッション等を通じて真剣に考え、自分なりの行動をとれることを目指します。この活動を通じて自分たちが学んだことを共有し合い、それを積極的に発信することで社会に働きかけ、「持続可能な未来」をつくるための主体となれるように追求していきます。また、そのような認識のもとで、英語教育だけではなく「国際理解教育」の推進も図っていきたいと考えています。

学年: 目的

中学1年: 自分と他人、どちらも尊厳をもつ、かけがえのない存在であるという認識を育てる。

中学2年: 人と人との協力・協働していくためには、様々な対立・意見の違いを乗り越えていく努力や、

互いの知恵を出し合って工夫していくことが必要であるという認識を育てる。

中学3年:共に取り組む集団を形成していくためには、自分と他者との違いに気づき、対立を恐れずに話し合ったり、その違いを尊重し合える気風が大切であるという認識を育てる。

高校1年:社会への新たな関心を広げ、善悪・真偽を分けへだつ判断能力を身につけていくために、生徒自身が学びの主体となれるようにしていく。

高校2年:地球規模の諸課題に目を向けるなかで、世界は、様々な生き方や文化を尊重し、相互に助け合ってゆかねばならないことを理解し、異なる文化への認識を深める。

高校3年:社会を支えている人々の生き方に学んで、広く社会に寄与できる人間性を培う。

* ユネスコスクールとは

ユネスコスクールは、1953年、ASPnet(Associated Schools Project Network)として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足しました。2013年には60周年を迎えます。世界180カ国で約9,000校がASPnetに加盟して活動しています。日本国内では、2013年9月現在、615校の幼稚園、小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がこのネットワークに参加しています。日本では、ASPnetへの加盟が承認された学校を、ユネスコスクールと呼んでいます。ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。

文部科学省および日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを持続可能な開発のための教育(ESD:Education for Sustainable Development)の推進拠点と位置づけ、加盟校増加に取り組んでいます。(ユネスコスクールのHPより)

* ESDとは

「ESD」は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育です。

(文部科学省のHPより)

<https://www.shogak.ac.jp/highschool/>

桐蔭中等教育 学校説明会

日時 3月23日(土)14時30分

内容 1 岡田校長挨拶

2 中等教育学校プロジェクトチームによるプレゼンテーション

3 在校生によるプレゼンテーション

4 2019年度入試の結果総括

5 2020年度入試に向けた説明会等のスケジュール

申込 ホームページより

その他 ご来校の際は公共の交通機関をご利用ください。

わかる！桐蔭学園中等教育学校の基礎知識 (配布資料より)

「桐蔭学園中等教育学校」は、男女共学の6年完全一貫校です。中学に相当する前期課程(1年～3年)と高校に相当する後期課程(4年～6年)の6年間、同じメンバーで学校生活を送ります。

なお、2019年度入試より中学校(男子部・女子部)と中等教育学校は中等教育学校に一本化され、中学校男子部・中学校女子部はすでに募集を行っておりません。また、同法人の「桐蔭学園高等学校」は、主に公立中学校からの入学者で構成される男女共学の3年間の教育を行う高等学校で、「桐蔭学園中等教育学校」とは別の学校です。カリキュラムおよび部活動も原則的に別々です。将来、「桐蔭学園高等学校」への入学を希望される場合は、高校入試での受験をおすすめしています。

<http://toin.ac.jp/ses/>

筑波大附属中 生徒募集の変更に関するお知らせ

(ホームページより)

2020年度入試について(対象:2018年度小学5年生)

募集人員が変わります。

従来:約65名 → 変更後:約80名

2021年度入試について(対象:2018年度小学4年生)

入試日の学力検査の教科数が変わります。

従来:8教科(全教科) → 変更後:4教科(国語・算数・社会・理科)

(2020年度入試まで実施する音楽・図画工作・家庭の筆記試験と、体育の実技試験は行いません。)

なお、2021年度入試の詳細については、2019年4月以降のホームページや学校説明会でお知らせします。

<http://www.high-s.tsukuba.ac.jp/jhs/wp/>

合同相談会3

神奈川私立中まつり

日時 3月21日(祝) 10:00～15:00

会場 藤沢商工会館ミナパーク

内容 体験ブース、個別相談コーナー

参加校 アレセイア湘南、栄光学園、鎌倉女学院、鎌倉女子大学、関東学院、関東学院六浦、函嶺

白百合学園、北鎌倉女子学園、公文国際学園、相模女子大学中、自修館中等教育学校、湘南学園、湘南白百合学園、逗子開成、聖セシリア女子、清泉女学院、聖和学院、相洋中、東海大学付属相模、桐光学園、藤嶺学園藤沢、聖園女学院、山手学院、横須賀学院、横浜富士見丘学園

神奈川県全私立中学相談会

日時 4月29日 10:00～16:00

会場 パシフィコ横浜 展示ホールD／アネックスホール(2F)

<http://www.phsk.or.jp/consultation.html>
